

認証シンボル・画面作成ソフト 操作説明書 V1.0

自分で撮ったり創ったり、あるいは集めてきた写真やイラストを自由に組み合わせてオリジナルの認証画面を自分で作成することができます。

他人の作成したイラストや写真を使う場合は、著作権を侵害することのないよう十分ご注意ください。

登録準備

① 必要なもの

- A. 認証用のパスシンボルとして使用する愛着の強い画像
・・・3～14点（必要なセキュリティ度に応じて）
- B. Aと似ているが愛着のない画像
（罫（おとり）として使用するもの）

My Picture や専用のフォルダーにAとBとをBMP(.bmp)形式で保存しておきます。

昔の写真（紙焼き）を使いたい時

デジカメで古い写真を再撮影、
またはスキャナーでスキャンしてください。

思い出の品物を使いたい時

品物をデジカメで撮影してください。

自作のイラストを使いたい時

作成したイラストをBMP(.bmp)形式で保存してください。

注意！

大きな写真やイラストは縮小すると細部が見えにくくなるので、必要に応じてデジカメやスキャナ付属の画像処理ソフトを使って必要部分だけを切り取って保存しておいて下さい。

サイズは画面作成時に自動調整されますので気にしなくても結構ですが、正方形の画像を準備しておく、一度に登録することもできて便利です。

長方形の画像の場合には、一度に1画像の登録となります。BMP形式には一部使えないものがありますのでご了承下さい。

② 画像の選び方

A. パスシンボル用画像について

自分自身の記憶に基づく画像を任意の枚数（3～14枚）をご用意ください。使用する画像は、本人にとっては忘れがたく、迷わずに選べるものが最適です。

たとえば・・・

- 昔住んでいた家、町、飼っていたペット
- 小学校の頃の愛読書、好きだった歌、歌手
- 将来の夢、願望（憧れている物や行ってみたい場所など）

など、決して忘れ得ない思い出や記憶とリンクした画像です。

B. 罫（おとり）用画像について

罫（おとり）となる非登録シンボル用は、明らかにAと異質であると判るような素材は使用しないでください。

例えば、古い写真4枚を登録用に使う場合には、より古い写真4枚以上を罫として使用すれば第三者に手掛かりを与えない安全な認証画面を作ることができます。

③ 画像選別の一例

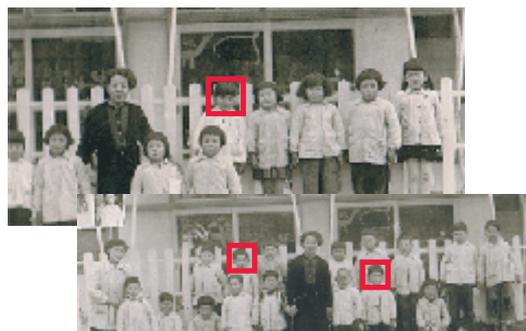
選ぶ画像は個々の思い出によって異なります。ここでは例としていくつかをご紹介します。

ユーザご自身の過去の記憶に沿って、楽しいパスシンボルをお考えください。

※ 例ではパスシンボルの数を便宜上3つとしていますが、望ましいセキュリティレベルと利便性のバランスに応じて多めにご用意ください。表示シンボル総数の半数まではパスシンボルとして登録していただけます。

例1 集合写真を使って・・・

なつかしいクラス写真を使用。思い出深い3人を自分のパスシンボルに指定し、その他の生徒はすべて罫（おとり）として登録します。



ひそかに
片思いだったきよみちゃん



一番仲の良かったきみたかくん



幼稚園時代の自分

赤いカッコ以外の園児は、すべて罫（おとり）シンボルとして登録。

例2 なつかしい写真をいろいろと組み合わせて・・・

思い出のつまった写真でパスシンボルを作成。ただし、最近のものや、他人が見て、本人の写真だと推測できるものは、セキュリティを落としかねませんので、できるだけ、現在の様子と違う写真をお勧めいたします。囀(おとり)には、自分に何の関係もない集合写真や、意味のないスナップなどを使用するとよいでしょう。



幼稚園の頃に飼っていた猫



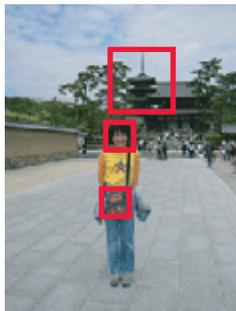
小学校の頃に飼っていた猫



旅先で撮ったらくだの置物

例3 1枚のスナップから・・・

1枚の写真だけを使い、パスシンボルを作成することも可能です。「思い出の1枚」から、心に残っている部分を切り出します。



10年前に、親友とはじめて一緒に旅行した奈良の法隆寺



幼なじみで親友のしほちゃん



おそろいで買った、お気に入りのバッグ

例4 イラストと写真を組み合わせて・・・

イラストや思い出の品の写真を使って、当時の記憶を使い、パスシンボルを作成してみましょう。例として「小さい頃に住んでいた場所と、当時、お気に入りだった絵本と大好きだったタレント」をパスシンボルに利用しました。



5歳まで富士山が見える静岡県に住んでいた



母に繰り返し読んでもらった思い出の絵本



初めて買ってもらったレコード

例5 「思い入れ」のあるものをイラストにして・・・

イラストが得意な方は自作のイラストでパスシンボルを作ってみては。心に強く残る思い出をイラストで作成。パスシンボルとして使用すれば、忘れることはありません。



名犬ラッシーが大好きだった



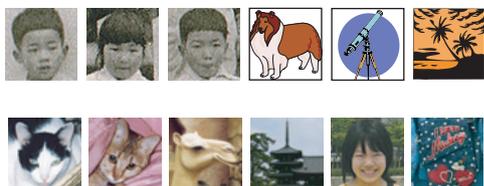
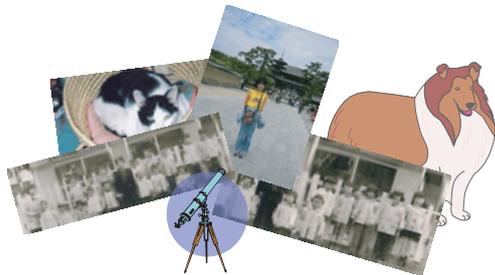
天体望遠鏡が欲しくて仕方がなかった中学生時代



サーフィンが趣味で、南の島に憧れた大学生時代

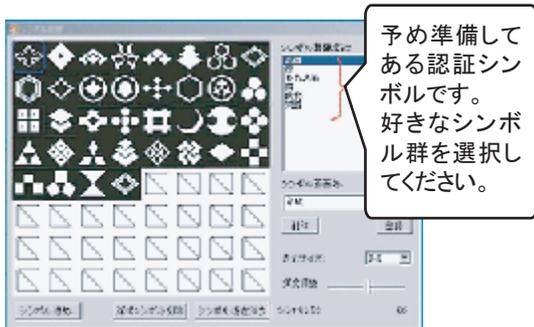
例6

例1から例5までを使用して、12点のパスシンボルを使用します。多少手間は増えますが、極めて高いセキュリティ強度を実現します。



登録の仕方

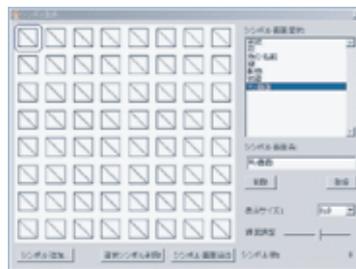
- 1 「スタート」メニュー → 「プログラム」 → 「ニーモニック認証」 → 「シンボル設定」とクリックを続けると、「シンボル登録」画面が現れます。



- 2 「シンボル画面名」に好きな名前を入力して「登録」をクリックしてください。お客様が定義したシンボル画面が予め用意してあるシンボルを引き継いで作成されます。



- 3 「シンボル画面消去」をクリックすると、その画面のすべてのシンボルが消去されます。ご自分で用意したシンボルで新たな認証画面を作成したい場合にご利用ください。

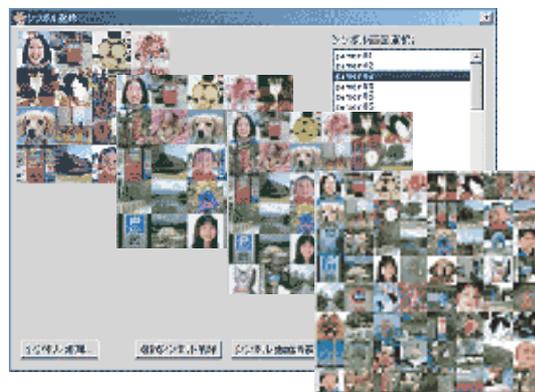


「シンボル画面消去」をクリック。すべてのシンボルが消去される。

- 4 例として、「gamen3」画面をベースに、1 2 の手順で自作の画面「My01」を作成します。



- 5 認証画面の大きさ(シンボル数)は、4×4、5×5、6×6、8×8の中からお選びいただけます。大きな画面を選ぶと認証時にパスシンボルを探す手間は増えますが、セキュリティは高くなります。



例えば、64個の画面で14個のシンボルを探すのは面倒なようですが、幼く可愛かった頃の甥や姪や孫、自分になついていたペット、懐かしい同級生の社員など、濃密な感情のこもった昔の写真・イメージであれば、間違えることなく探し出せます。こうした使い方をすると極めて高いセキュリティを実現できます。

自分で何らかのルールを決めて14個に順番をつけると、80ビット(まぐれ当たりの確立はおおよそ1兆の1兆倍分の1という強度になります)。

- ⑥ 認証画面の大きさを選択した後、新たに加えるパスシボルの数だけ、画像を削除します。
必要ないと思われるシボルの上で左クリックし、次に「選択シボル削除」のボタンを左クリックします。



- ⑦-1 前もって、BMP(.bmp)で保存しておいた「パスシボルとして使用したい画像」を登録します。

エクスプローラを起動させ、画像データのファイルを表示してDrag&Dropします。正方形の画像データであれば複数の画像を選択して一度に追加することもできます。



- ⑦-2 正方形でない画像をDrag&Dropすると「シンボル追加」ウインドウが表示され、エリア指定・色調変換を行うことができます。大きな画像の一部のエリアを指定する場合には、「ズーム」が便利です。



注意!

「シンボル追加」ウインドウでは、画像中央の正方形部分が自動選択されています。選択エリアサイズの変更や移動がマウス操作で可能です。
また、エリア外をクリックすることで選択エリアは解除されます。解除された状態で、マウスの左ボタンを押したまま移動させて離すことによって画像の任意のエリアを選択できます。

「シンボル追加」ウインドウの「登録」ボタンをクリックすると、エリア選択部分がシンボルとして追加されます。



9 エクスプローラを起動するかわりにシンボル登録画面で「シンボル追加」ボタンをクリックし、「ファイルを開く」画面を表示させて画像データを選択することもできます。しかし、この場合には正方形の画像であっても複数データの選択はできず、1個ずつの追加となります。

① 不要なシンボルは、シンボルをクリックして選択してから「選択シンボル削除」ボタンを押すことで削除できます。



8 シンボルの順序は、移動したいシンボルをマウスの左ボタンで指定し、左ボタンを押したまま移動させて、置きたい場所で離す (Drag&Drop) ことで自由に変更できます



② 不要な認証画面はシンボル画面選択ボックスの中で選択しておいて「削除」をクリックして下さい。認証画面がすべて消えてしまうことを防ぐために、標準で用意されている認証画面はユーザが間違った操作をしても消えないようになっています。

③ 「登録」ボタンをクリックすることで、認証画面が確定されます。「登録」後に、右上の× (閉じる) ボタンをクリックして終了します。登録画面はMy Documentの中の「ニーモニックシンボル」というサブフォルダーに格納されます。

10 シンボル登録作業を無効にしたい場合には「登録」ボタンをクリックせず、右上の× (閉じる) ボタンをクリックし、編集作業を破棄してください。

11 「シンボル画面消去」して、罫シンボルも含めてすべてのシンボルを登録することで、完全に自分だけの認証画面を作成することが可能です。

付記

画面作成ソフトV3(symbol.regist3cm.exe)ではシンボル登録画面に「輝度」・「白黒」・「セピア」・「ぼかし」のスライダーが追加されました。こうした処理を選択した個々のシンボルに加えることができます。

これらの機能を駆使してパスシンボルと罫シンボルの調子を揃えたり或いは新旧の印象を逆にすれば第三者による類推の道を効果的に閉ざすことができます。

Q & A

Q. どのようなオリジナル認証画面の作り方があってしょうか？

A. 次のような方法をお試しください。

- 接写モード・接写レンズを活用して、古いアルバムに残る孫・姪・甥・なついていたペットの昔の写真などをパスシンボルに使い、同年代の子供達の写真や飼ったことのない犬猫小動物の写真を罫(おとり)に使う。古くなるほど安全性が高まります。
- 自宅で愛用している食器や小道具の写真をパスシンボルに、喫茶店など自宅外でみかけたものの写真を罫(おとり)に。
- 自作の手芸品などの写真をパスシンボルに、自作ではないものを罫に。
- ひそかに応援しているタレントの写真をパスシンボルに、有名でも特に興味のないタレントは罫(おとり)に。
- 上記例の逆を取って、懐かしい写真を罫にして、無意味・無感動な写真をパスシンボルに。
- 同僚・上司など周囲の人に良く知られている近親者や物の画像を罫として使う

その他、身の回りには無限に材料があります。工夫して自分だけの楽しい秘密のキーを作ってください。ただ、くれぐれも自分が好んでいて人に知られているものばかりをパスシンボルとして登録するようなことはしないように。

Q. オリジナル認証画面を作るときに、注意しなければならないことは何でしょうか？

A. 次のようなことはやってはいけません。

- 雛型の上に追加したものを全てパスシンボルとして登録。
- パスシンボルは全て古い写真ばかりで、罫は全て新しい写真ばかり。
- 日頃から好きだと公言している人やブランドばかりでパスシンボルを作る。
- いつも自宅外で持ち歩いているものをパスシンボルにする。
- 家族からプライバシーを守るのが主目的の人が、昔のものであっても家族・親族の写真をパスシンボルに使うこと。(但し、罫の材料として混ぜるような工夫は時に有効。)

その他のQ&Aにつきましては以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.mneme.co.jp/faq1/qa/faq.html>